

# 美和ダムによる効果

【数字はすべて速報値】

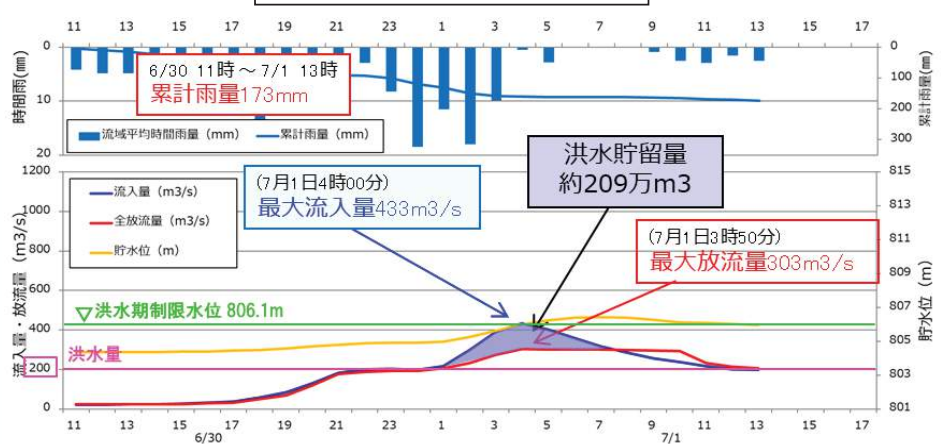
- 梅雨前線の影響により、6月30日から7月12日までの総降水量は約**628mm**を記録しました。
- 洪水ピーク流入量は約**433m<sup>3</sup>/s**であり、美和ダムの防災操作実施により、約**209万m<sup>3</sup>**の水を貯留し、ダム操作がなかった場合と比較して、ダム下流の沢渡水位観測所における水位低減効果は約**13cm**と推測されます。
- 今回の出水でも土砂バイパストネル<sup>※</sup>の運用を行い、貯水池への土砂流入を抑制しています。

※洪水時に上流から流入してくる大量の土砂を美和ダムを迂回させ、ダム湖に流入する土砂を抑制するための施設

## 位置図



## 美和ダムの防災操作の状況



洪水後美和ダム放流状況(7月1日7:20)



土砂バイパストネル放流状況(7月1日7:20)

## ダム下流における水位低減効果

